

桜川の山桜



(表紙写真提供：桜川市)
※写真は高峯の山桜

桜川市磯部地区に群生する「桜川のサクラ」は、古来より「西の吉野、東の桜川」と称される山桜の名所として知られています。

平安時代、紀貫之が後撰和歌集において、「常よりも春辺になれば桜川 波の花こそ間なく寄すらめ」と詠んだことから、遠く西の京都まで「桜川のサクラ」の評判が届いていたことが分かります。

約1,900年の歴史を誇る櫻川磯部稲村神社周辺には、東北地方で多く見られる白山桜が群生しています。淡紅色の花ばかりでなく、芽ぶき時の赤芽の美しさも有名で、学術的にも貴重な存在となっています。

室町時代、世阿弥の謡曲「桜川」の舞台となったこの地区には、800本弱のサクラが群生しています。珍しい種類が多数見られ、11種類が国有種となっています。

櫻川磯部稲村神社の参道及び磯部桜川公園の一部は、国の「名勝」に指定され、毎年4月10日前後に見頃を迎え、多くの観“桜”客で賑わいます。

「桜川のサクラ」より遅れること1週間、神社から約2km北にある里山・高峯では、山に自生する山桜が見頃を迎えます。山桜の淡い紅色と赤芽が、青々とした木々の新たな芽吹きのと重なり、まるで“自然のパッチワーク”のような眺望を楽しむことができます。

新しい年度を迎える4月、ご家族・ご友人とともに、古来より愛されてきた桜川の山桜を見に出かけてみてはいかがでしょうか。



- ◆場所：磯部桜川公園
- 住所：茨城県桜川市磯部740-2
- アクセス：
【車】北関東自動車道 友部ICから国道50号経由、約40分
【電車】JR水戸線「岩瀬駅」よりタクシーで10分